

「守護天使」の方々と、私に対し興味をもち始めた人々のために

Greatchain

March 14, 2024

まさに青天の霹靂のようなことが起こって、ユーチューブという情報場を用いて、私に対する揺るぎない支持を表明してくださった、大天使ミカエル（マイケル）と、数人の天使らしい方々に、お礼を申し上げる。「あなた」と呼ばれ、My Child と呼び掛けられるのが、私であることが、大量の同じような趣旨のタイトルを読み進むうちに、いよいよ明かになってきた。そしてここ 2, 3 日、一般の方々（というべきか）からも、続々と私に対する、熱烈な賛同と激励をいただいている。

ここで不思議なことは：——この人々は日本人でもなく、この現実世界の人々とも思えないこと。日本人は普通、こんな流暢な英語を使わず、また私の日本語はかなり高度な内容だが、私の立場はほぼ完全に理解されていることである。彼らは私の大胆さを褒め、あるべき一つの新しい世界に、私が先鞭をつけたかのように言っている。この人たちは高次元世界の人々に違いなく、その場合、言葉の壁はなくなるようだ。

彼ら天使たちは、「私と私の家族」がどんな敵からも悪霊からも、完全に保護されていることを保証してくれたが、これは先日、私が家族についての不安を訴えたことに、即刻、応えてくれたものである。その上で、私を応援してくれる人々は、私の考え方や行動は完全に正しいのだから、「そのまま自信をもって突き進め」と言ってくれた。「チアリーダー」という言葉も使われ、私に対する自称「ラブレーター」を送ってくれた人もいて、彼らは私の心理状態を知り抜いているかのようであり、もちろん、私がかかなりの高齢であることも知っている。

そこで守護天使たちにも、おそらく目を白黒させている日本人の方々にも、そもそも私がどういう人間かを簡明に説明させていただきたい。まず私はキリスト教に興味はあるが、キリスト教徒ではない。私の家系は浄土真宗に関係はあるが、クリスチャンはいない。先日来、ある世界的宗教の崩壊がきっかけとなって、霊的な問題がユーチューブで一斉に噴出したとき、個別な宗教はなくするのがよいのだという意見が、かなりあった。私もそれに賛成する。宗教という言葉が、不幸なことに、嫌な響きを持つようになったことは否定できない。すると、それをよいことに、わが国の唯物論権力者たちは、あたかも「宗教ア

ヘン論」が今でも通用するかのよう、「宗教、神、創造者」を、まるで不潔なもののように密かに、しかし実態は公然と禁止している。これは彼らの知能的・道徳的欠陥を露呈するものである。

そこで先日の記事で、私が、特に大天使ミカエルの使っている言葉を引用しながら、彼らの思想が宗教的芸術論、あるいは芸術的宗教論であると言ったことを思い出していただきたい。(これは YouTube の索引によって、**The Reason Why I've Been Silent** を検索すれば、ビデオが出てくる。) これは私を熱くするものの中心にあるもので、ひとたび我々がそのような立場に立ったとき、我々の暗い世界には、一気に光が差し込むではないか？ この暗い世界を人々に強制していた者は誰だ？ 責任者は表へ出ろ！

私の第一の好みから言えば、その典型はベートーヴェンの「第九」である。それはシラーの神を讃える詩と一つになっている。大天使ミカエルの、私に対して語る奔流のような熱っぽい言葉は、本質的には「第九」と同じ境地から発していると思われる。私はこの宗教と芸術の世界を、言葉の極限に集約して、(シラーを真似て)「春宵に酔い天のきざしはしを行く」という俳句を得た。

なぜこの大天使は私を、一心同体の盟友であるかのように褒めるのか？ 私が考えるのに、それは、その体験自体が世界創造の場所、神の発現の現場だからではなからうか？ 私に対してその誉め言葉は明らかに過剰である。私はそれに値する者ではない。しかしそのように私を抱き込むことによって、彼自身にも私にも、共に何か今までになかった新しい世界を、発見させたのではないだろうか？ 人はごくわずかな他者との共鳴によっても、世界を動かすと言われる。——このように言うことを、神に対してあまりにも不遜ではないかという人があるかもしれない。しかし神は今、我々が神を助けなければ、動くことができない状態になっている。私に対するコメントに twin flames (双子の炎) という言葉を使った人がいた。私はこの言葉を知らなかったが、これは twin flames universe として使われるらしい。

もし誰かが私に、「お前が世間を敵に回して、そんなに熱くなっていることは何なのだ」と聞いたとしたら、私の答えははっきりしている。それは「**神の無念を晴らす**」ことである。

神がこの宇宙を創ったのは何のためだったのか？ それは、宇宙でも特にこの地球を創り、人間を中心として、奇跡的に恵まれた自然環境をもち、あらゆる点で生きるのに恵まれた惑星を創るためだった。それは『特権的惑星』The Privileged Planet をはじめ、数多くの Intelligent Design の参考書によって論じられている。それについては私が、この理論の開始から、長い時間をかけて紹介してきたので、これ以上は立ち入らない。

しかしこの創造者による創造を、普通の論理で説明するこの ID 理論は、いわば禁書のような扱いを受け、読まないことが奨励されている。この一事からもわかるように、我々のこの歪んだ文明は、神を無視するだけでなく、神に反逆することさえ奨励しているように見える。**無知と忘恩のこれ以上の例を、我々は想像することができない。**私はよく友人に「自分趣味は喧嘩だ」といって笑わせるが、これは本音以上のものである。

これは守護天使の方々から見れば、勇気ある闘士の行動に見えるであろう。そして ID の禁止は、明らかに暗黒勢力と繋がっているので、この方々が、私の保護に万全を尽くしてくださっている——というのが現状である。

そこで私の「敵」に当たる方々に申し上げる。私は決して脅しや懐柔によって、折れることはありませんのでよろしく。勝ち負けの初めから決まっている、この喧嘩を、最後まで楽しませていただきます。実はユーチューブの画面にも You Are Outnumbered (あなたは数において勝っている) という激励の言葉があった。それはそうであろう。こんな唯物論信仰はとうの昔に時代遅れなのだ。

これは別件だが、どこで間違ったのか、私が大金を欲しがっているかのような情報があるようだが、とんでもない間違いである。私は完全な年金暮らしであり、それ以外に何か欲しいというようなことを人に言ったこともなく、財政破綻したこともない。また私は今後も、Greatchain というペンネームで通すつもりである。本名は、我々「創造デザイン学会」のホームページを見ていただければ、推測できるようになっている。